

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和7年6月2日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
東京都新宿区歌舞伎町2丁目3-22

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
日本化成株式会社
代表取締役 廣瀬 隆

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	日本化成株式会社 代表取締役 廣瀬 隆
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	東京都新宿区歌舞伎町2丁目3-22

1 事業者の概要

事業所の名称	日本化成株式会社 関西工場					
事業所の所在地	滋賀県甲賀市水口町さつきが丘25					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	1	2	9	※ 産業分類・細分類名称を記載 その他のセメント製品製造業
事業の概要	建築・土木材料の製造					
従業員の数	50	人	作業時間	9	時間/日	
該当する事業者の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ		台	熱源設備		台
	コンプレッサ	2	台	空気調和設備	21	台
				照明設備	218	台
				その他	・集塵機:2台 ・コンベアー:2台	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	令和5	年度	報告対象年度	令和6	年度
	終了年度	令和6	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

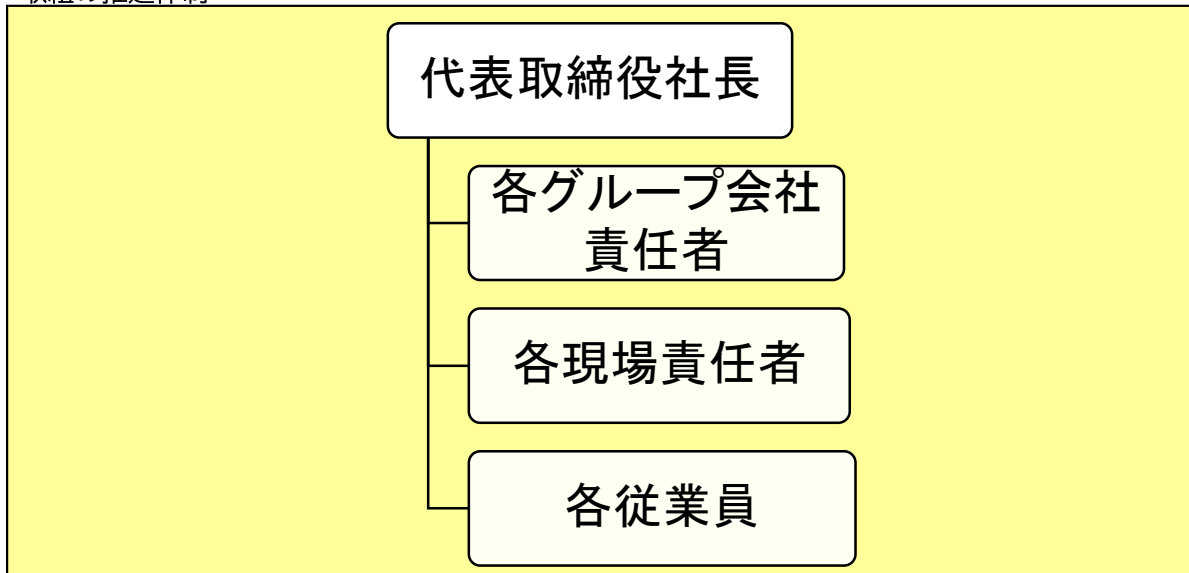
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

日本化成プロダクト株式会社は、温室効果ガス排出量の削減・CO₂ネットゼロ社会づくりを下記のテーマで進めていきます。

- 1.省エネルギー対策の推進と環境負荷の低減に取り組みます。
- 2.各事業所において省エネの工夫をしていきます。
- 3.事業所のエネルギー使用量を低減し、二酸化炭素の排出量を削減します。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・事務所や工場内の照明をLED化
- ・空調を最新の高効率空調に更新
- ・太陽光発電の設置
- ・買い替え時は省エネ機器を購入
- ・環境ラベル(エコマーク・グリーンマーク等)製品を優先的に購入
- ・夏の涼しいは空調を使用せず窓を開ける
- ・遮熱フィルムを窓に貼る

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	空調温度の設定緩和	令和5年度～	令和5年度から実施中
2	運用改善	空調機のフィルター清掃	令和5年度～	令和5年度から実施中
3	設備導入	集塵機のモーターインバータ化	令和5年度	令和5年度に実施
4				
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>基準年度(令和4年度)と比較して、計画終了時(令和6年度)に以下目標数値の達成を目指す。尚、令和5年度の報告は途中経過報告とする。</p> <p>①電力使用量:基準年度から85,000kwh削減 ②CO₂排出量:基準年度から25t-CO₂削減</p> <p>※実績を目標と適切に対比させるため、電力の温室効果ガス排出量の算定は、令和3年度実績:関西電力基礎排出係数0.299kg-CO₂/kwhに固定して計算をする。</p>	<p>【基準年(令和4年度)】 ・電力使用量:633,304kwh ・CO₂排出量:189.84t-CO₂</p> <p>【令和6年度】 ①電力使用量:545,211kwh →削減量:88,093kwh ②CO₂排出量:163.81t-CO₂ →削減量:26.03t-CO₂</p> <p>①②共に目標を達成する事が出来た。集塵機のインバータ化は非常に効果があったと考えられる。 その他の省エネにも今後も取り組んでいく。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	単位	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			5年度	6年度	()年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	163	147	141			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	189	206	219			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	189	206	219			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh					
上記のうち自家消費量	kWh					